

# 機構及び事務分掌

平成 23 年 5 月 18 日

文化観光局

## 目 次

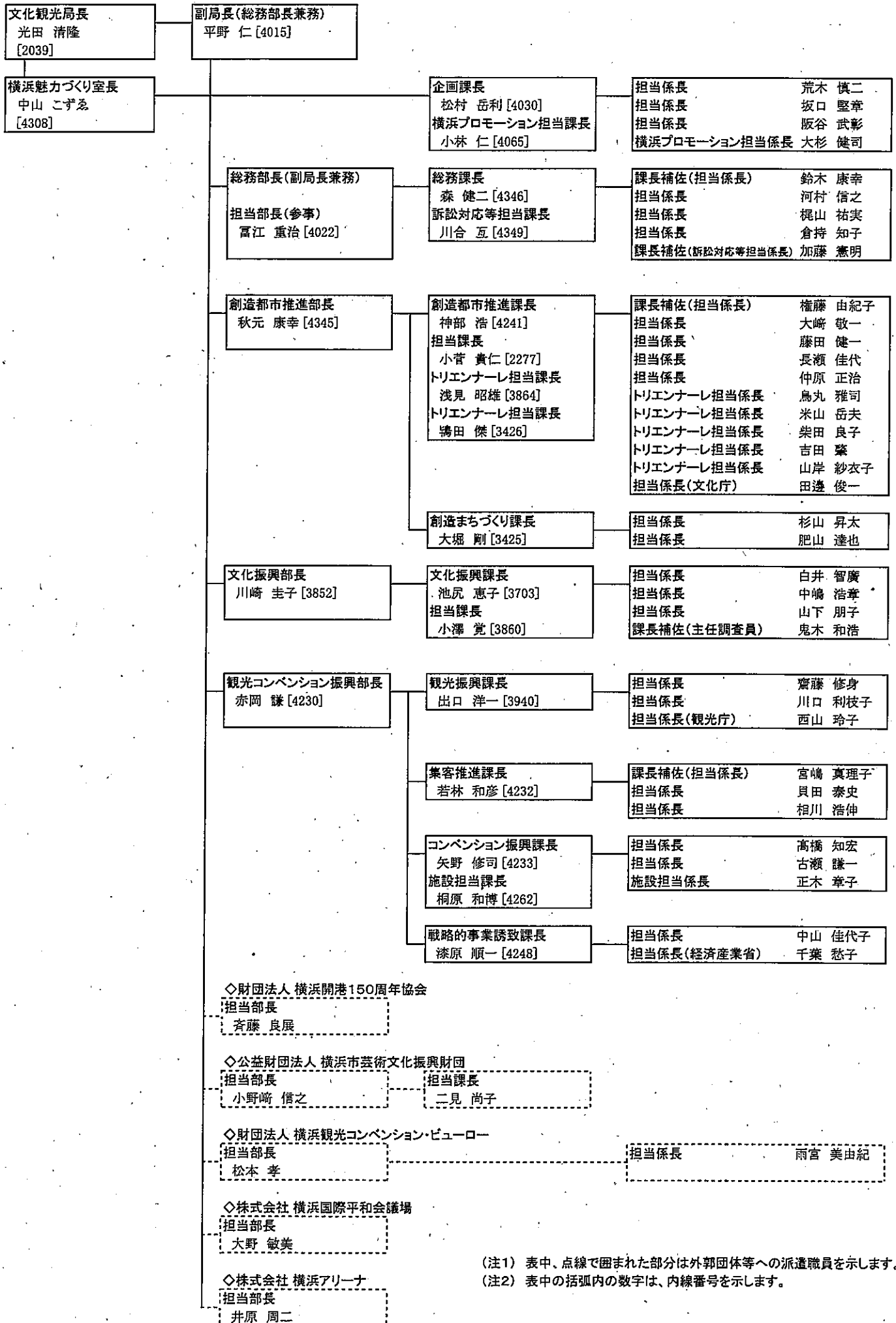
### 1 機構図

文化観光局 . . . . . P1

### 2 事務分掌

文化観光局 . . . . . P2

# 1 文化観光局機構図



(注1) 表中、点線で囲まれた部分は外郭団体等への派遣職員を示します。  
 (注2) 表中の括弧内の数字は、内線番号を示します。

## 2 文化観光局事務分掌

### 横浜魅力づくり室

#### 企画課

- 1 横浜の魅力向上に係る総合的な企画、調整及び調査研究に関すること。
- 2 局の重要施策の企画及び総合調整に関すること。
- 3 シティプロモーションに関すること。

### 総務部

#### 総務課

- 1 局内の人事、文書、予算及び決算に関すること。
- 2 局内の事務事業の連絡調整に関すること。
- 3 局所管の外郭団体の総合調整に関すること。
- 4 局の危機管理に関すること。
- 5 財団法人横浜開港150周年協会に関すること。
- 6 開港 150 周年記念事業に関すること。
- 7 他の室および部の主管に属しないこと。

### 創造都市推進部

#### 創造都市推進課

- 1 創造都市の形成に係る総合的な企画、調整及び事業等の実施に関すること。
- 2 創造都市の形成に係る拠点の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 3 部内他の課の主管に属しないこと。

#### 創造まちづくり課

- 1 創造都市の形成に係るまちづくりに関すること。

### 文化振興部

#### 文化振興課

- 1 文化施策の総合的な企画及び事業の実施に関すること。
- 2 文化芸術活動の総合的な支援に関すること。
- 3 文化施設の整備及び運営管理並びにこれらに係る企画、調査及び調整に関すること。
- 4 区役所の文化振興支援に関すること。
- 5 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団に関すること。
- 6 文化基金に関すること。
- 7 その他文化振興に関すること。

## 観光コンベンション振興部

### 観光振興課

- 1 観光交流の推進及び調整に関すること。
- 2 観光関係の団体及び施設に関すること。
- 3 財団法人三溪園保勝会及び財団法人横浜観光コンベンション・ビューローに関すること。
- 4 部内他の課の主管に属しないこと。

### 集客推進課

- 1 国内外からの観光客の集客に係る総合的な企画、調整及び事業の実施に関すること。

### コンベンション振興課

- 1 コンベンション及び集客イベントの推進及び調整に関すること（戦略的事業誘致課の主管に属するものを除く。）。
- 2 コンベンション関係の団体及び施設に関すること。
- 3 株式会社横浜国際平和会議場及び株式会社横浜アリーナに関すること。

### 戦略的事業誘致課

- 1 国際会議及び大規模イベントの戦略的な誘致に関すること。



平成 2 3 年度

# 事業概要

文化観光局

# 目 次

	ページ
◎ 平成23年度文化観光局 事業概要について . . . . .	3
◎ 平成23年度文化観光局 予算総括表 . . . . .	5
◎ 事業別内訳	
I 魅力づくり推進事業 . . . . .	6
(1) 事業 (2款1項3目創造都市推進費)	
(2) 事業 (2款1項1目都市経営推進費)	
II 創造都市推進費 (2款1項3目) . . . . .	7
1 文化芸術創造都市形成事業	
(1) ナショナルアートパーク構想推進事業	
(2) 創造界限形成事業	
(3) 地域再生まちづくり事業	
(4) アーツコミッション事業	
(5) 映像文化都市づくり推進事業	
(6) 横浜トリエンナーレ事業	
(7) 創造都市交流事業	
(8) 創造都市市民力継承事業	
(9) 魅力づくり推進事業【再掲】	
(10) 創造都市雇用対策事業	
2 戦略的事業誘致 (「IV 観光・コンベンション振興費」に記載)	
III 文化振興費 (3款1項5目) . . . . .	9
(1) 横浜芸術アクション事業	
(2) クラシック・ヨコハマ推進事業	
(3) 文化芸術による地域づくり事業	
(4) 芸術文化教育プログラム推進事業	
(5) 芸術文化支援事業	
(6) 文化施設運営事業	
(7) 文化施設整備事業	
(8) 横浜市芸術文化振興財団補助金	
(9) その他の文化振興事業	

IV 観光・コンベンション振興費（8款1項9目）・・・・・・・・ 11

1 観光資源の魅力アップと活用事業

- (1) 国内誘客事業
- (2) 横浜観光プロモーション認定事業
- (3) ニューツーリズム振興事業
- (4) フィルムコミッション事業
- (5) 横浜おもてなし事業
- (6) 三溪園支援事業
- (7) ヨコハマグッズ販路強化事業
- (8) その他観光振興事業

2 海外集客プロモーション事業

- (1) ビジットジャパン地方連携事業等を活用したプロモーション
- (2) 中国向けプロモーション事業
- (3) 航空会社とのタイアッププロモーション
- (4) その他

3 MICE誘致・開催支援事業

- (1) コンベンション誘致・開催支援事業
- (2) MICE機能強化等事業
- (3) 集客イベント支援事業

4 戦略的事業誘致

- (1) 大型国際コンベンション誘致事業
- (2) アフリカン・フェスタ実施事業

5 減債基金積立金



# 文化観光局の事業概要

## 局の理念

文化のかおる活力ある都市横浜、人が集い交流するにぎわいのある都市横浜の実現

## 局のスローガン

発信しよう 横浜の魅力！ ～もっと「横浜の魅力」を知ってもらおう！～

## 組織の方向性

### ◆横浜魅力づくり室（新設）

横断的・総合的に事業の調整を図るとともに、より効果的なシティプロモーションを実施するための企画調整・発信を行う

### ◆創造都市推進部

創造都市事業を、ソフトとハードの両面から展開することにより、街のさらなる活性化につなげる

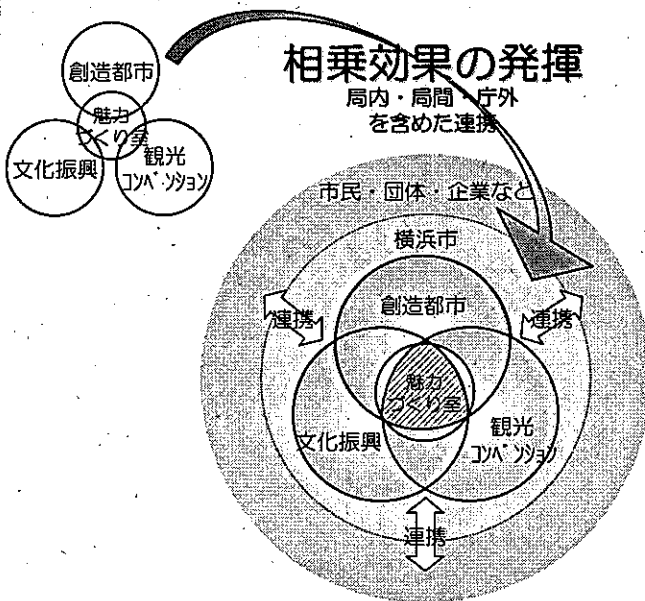
### ◆文化振興部

市民の文化芸術活動を支援するとともに、質の高い芸術事業を行い、横浜の魅力づくりにつなげます

### ◆観光コンベンション振興部

観光コンベンション部門について、戦略的コンベンション等の誘致とあわせ、都市としての魅力向上を図りつつ、国内外からの集客増を実現する

## 局の運営について



## 局のスローガン

発信しよう 横浜の魅力！  
もっと「横浜の魅力」を知ってもらおう！

越えよう  
組織の枠！  
柔軟な発想と行動  
で、仕事を楽しく、  
やりやすく！

持とう  
おもてなしの  
ところ！  
誰もが横浜を好き  
になるように！

増やそう  
賑わい！  
横浜から日本を  
元気に！

## 局再編の背景

- ◆観光・コンベンション・創造都市を新たな成長戦略として位置づけ、本市の強みを活かした重点施策を展開
- ◆文化政策の一体的な推進
- ◆コンベンション誘致施策の一体的な推進

## 文化観光局の新設

本市の強みである文化・観光・MICE・創造都市の実績を集約することで、横浜の魅力向上を図り、内外からの集客増を実現



## 平成23年度 局の取組

### 具体的事業を通じた相乗効果発揮の実践

- ◆局一丸となって相乗効果を発揮し、イベント等を通じて横浜の魅力を発信しながら、集客を図ります  
例) ヨコハマトリエンナーレ2011・INVITATION to OPEN YOKOHAMA2011  
横浜芸術アクション事業  
映画「コクリコ坂から」(スタジオジブリ制作)公開と連動したプロモーションの展開
- ◆創造都市、文化、観光コンベンションの融合により、個々の事業の一層の進化を図ります  
例) 文化施設の活用等によるアフターコンベンションの充実  
地域の文化・観光資源を活用した情報発信力の強化

### 重点推進事業

#### ◆横浜魅力づくり室

- ・横浜魅力づくり推進事業 16,000千円 (新規)  
文化、観光等による魅力づくりに関する新規施策やシティプロモーション等の企画調整を総合的に推進

#### ◆創造都市推進部

- ・横浜トリエンナーレ事業 490,020千円  
我が国を代表する国際的な現代美術展である「ヨコハマトリエンナーレ2011」を平成23年8月6日から11月6日まで、横浜美術館・日本郵船海岸通倉庫を主会場として開催
- ・創造都市市民力継承事業 73,000千円  
横浜都心の多彩な魅力資源をつなぐキャンペーン「INVITATION to OPEN YOKOHAMA2011」の開催、創造都市の郊外展開等による地域課題解決とコミュニティ形成の推進等
- ・地域再生まちづくり事業 113,722千円  
違法な小規模飲食店が多数立地していた初黄・日ノ出町地区において、引き続き、地元・警察・行政等が一体となった、文化芸術の力を生かした都市の再生を推進

#### ◆文化振興部

- ・横浜芸術アクション事業 20,000千円 (新規)  
横浜から広く文化芸術を発信するとともに、専門文化施設のポテンシャルを最大限発揮し、質の高い演奏会等を開催するとともに、市民と芸術をつなげる事業を実施  
(平成24年度の本格実施に向けて、平成23年度はプレ事業を実施)
- ・芸術文化教育プログラム推進事業 17,500千円  
次世代を担う子どもたちの市民力、創造力を育成するため、学校においてアーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、企業等とのネットワークにより実施
- ・文化芸術による地域づくり事業 5,100千円  
市民・NPOが主体となり、人と人、地域と地域のつながりやネットワークを広げ、コミュニティの活性化を図る文化芸術活動を支援

#### ◆観光コンベンション振興部

- ・MICE誘致・開催支援事業 1,395,089千円  
羽田空港国際化やAPEC等の開催実績をいかした、国際コンベンションの誘致・開催支援、市内の大学や研究機関で開催される国際コンベンションへの支援や国内会議の国際化、ウェルカムプロジェクト等の取り組みの実施
- ・海外集客プロモーション事業 97,886千円  
羽田空港に国際定期便が就航するアジア地域をターゲットとして、横浜の観光地としての知名度向上やツアー造成につながるようなプロモーションの実施
- ・観光資源の魅力アップと活用事業 464,661千円  
横浜を訪れる多くの来街者の滞在環境を魅力あるものとするための、観光案内所の運営・人材育成支援、名勝三溪園の施設整備補助、民間事業者との連携により横浜の強みを観光資源として発掘・活用する「ニューツーリズム振興」の推進等



OPEN  
YOKOHAMA

◎ 平成23年度 文化観光局予算総括表

(単位：千円)

科 目	23年度予算額	22年度予算額	差引増△減	前年比 %	増減の主な理由	
一 般 会 計	8,116,832	8,434,890	△318,058	△3.8		
主 な 内 訳	2款1項1目 都市経営推進費	3,150	-	3,150	-	・横浜シティプロモーション広告費
	2款1項3目 創造都市推進費	1,283,286	1,108,480	174,806	15.8	・横浜トリエンナーレの開催 439,020千円増 ・APEC横浜開催の終了 △252,741千円
	3款1項5目 文化振興費	3,675,017	4,030,006	△354,989	△8.8	・文化施設運営費 201,877千円増 ・横浜芸術アクション事業 20,000千円増 ・文化施設整備事業 △472,948千円
	8款1項9目 観光・コンベン ション振興費	2,198,952	2,365,204	△166,252	△7.0	・国内誘客事業 1,514千円増 ・ビジットジャパン地方連携事業等を活用した プロモーション 8,500千円増 ・集客イベント支援事業 5,000千円増 ・三溪園支援事業 △62,315千円 ・MICE機能強化等事業 △62,165千円

I	魅力づくり 推進事業	本年度	前年度	差引	本年度の財源			
					国	県	その他	一般財源
	2款1項1目 都市経営推進費 3,150千円 2款1項3目 創造都市推進費16,000千円	千円 19,150	千円 -	千円 19,150	千円 -	千円 -	千円 -	千円 19,150

**横浜魅力づくり室**

**(1) 魅力づくり推進事業事業 【新規】 16,000千円 (前年度-)**

文化、観光等による魅力づくりに関する新規施策やシティプロモーション等の企画調整を総合的に推進します。

**(2) 横浜シティプロモーション広告経費 3,150千円 (前年度3,150千円)**

「京浜急行電鉄羽田空港国際線ターミナル駅を”横浜のゲートウェイ”に！」のコンセプトに基づき、京浜急行電鉄とのコラボレーションにより、駅構内に設置された46インチ9面マルチビジョンでの映像放映等、同駅構内でのシティプロモーションを実施します。

※旧都市経営局で所管していた羽田空港国際化関連施策推進事業の一部

II	(2款1項3目) 創造都市推進費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国 千円	県 千円	その他 千円	一般財源 千円
		1,283,286	1,108,480	174,806	-	117,197	15,257	1,150,832

**創造都市推進部**

**1 文化芸術創造都市形成事業 1,263,286千円 (前年度1,087,080千円)**

文化芸術の創造性を生かして、都市の活性化を図る創造都市の形成を推進します。  
 そのため、開港都市としての歴史や魅力的な資源を活かし、まちの魅力を高め、都市の活性化を図るナショナルアートパーク構想推進事業や文化芸術による地域の賑わいづくりを目指す創造界隈事業など、文化芸術、創造産業支援、まちづくりを一体的に進めます。  
 特に平成23年度は、第4回となる現代美術の国際展「ヨコハマトリエンナーレ2011」を開催し、東アジアの文化創造拠点として国内外への発信力を高めます。

(主な事業)

**(1) ナショナルアートパーク構想推進事業 75,700千円 (前年度84,500千円)**

ナショナルアートパーク構想のもと、都心臨海部の魅力づくりを進めるため、象の鼻パーク内の「象の鼻テラス(多目的レストハウス)」を文化観光交流拠点として活用します。また、企業、各種団体及び行政で構成する創造都市横浜推進協議会を運営します。

**(2) 創造界隈形成事業 228,769千円 (前年度252,212千円)**

都心部の歴史的建造物や倉庫、空きオフィス等を創造活動の場として活用することにより、アーティスト・クリエイターを定着させ、創作・発表・滞在する創造界隈の形成を進め、地域の活性化につなげます。

**(3) 地域再生まちづくり事業 113,722千円 (前年度120,721千円)**

違法な小規模飲食店が多数立地していた初黄・日ノ出町地区において、引き続き、地元・警察・行政等が一体となって、文化芸術の力を生かした都市の再生を進めます。そのため、新たに京浜急行高架下の有効活用を図り、地区内の空き店舗と併せてアーティスト・クリエイターの創造活動の場に活用します。更に、ヨコハマトリエンナーレ2011と併せて黄金町バザールを実施し、地区全体のまちづくりを促進します。

**(4) アーツコミッション事業 99,965千円 (前年度107,501千円)**

アーティスト・クリエイターの集積・活動支援を図るため、ワンストップ相談窓口を置き、創造活動に関する相談・支援・情報提供やマッチング、助成などを総合的に行うとともに、区内・区外地区等の空きビル等の転用による拠点整備の推進等を図ります。

**(5) 映像文化都市づくり推進事業 33,740千円 (前年度55,832千円)**

横浜から魅力ある映像文化の発信や人材育成を図るため、大学等と連携するとともに、都心臨海部で行われる特色ある映画祭の開催を支援します。

**(6) 横浜トリエンナーレ事業** **490,020千円** (前年度51,000千円)

我が国を代表する国際的な現代美術展である「ヨコハマトリエンナーレ2011」を、平成23年8月6日から11月6日まで、横浜美術館・日本郵船海岸通倉庫を主会場として開催し、創造都市・横浜の取組を国内外に発信します。

**(7) 創造都市交流事業** **8,700千円** (前年度15,200千円)

これまでに開催した国際会議等で形成された創造都市に関するネットワーク等を生かし、海外の芸術拠点等との人材交流、アーティストの滞在制作支援等を行います。

**(8) 創造都市市民力継承事業** **73,000千円** (前年度83,200千円)

開港150周年記念事業やこれまでの取組を通じて培った市民や地域の力を生かし、創造都市の取組を一層推進します。

横浜都心の多彩な魅力資源をつなぐキャンペーン「INVITATION to OPEN YOKOHAMA 2011(仮称)」の開催、横浜トリエンナーレサポーターの自主的活動支援、マザーポートエリアにおける市民によるイベントの支援、ストリートミュージシャンの演奏の場の提供などを通じて、市民活動の盛り上げや街の賑わいづくりを図ります。また、創造都市の郊外展開を図り、地域課題解決とコミュニティの形成を目指します。

**(9) 魅力づくり推進事業【再掲】【新規】** **16,000千円** (前年度-)

(2款1項3目創造都市推進費)

※ 詳細は6ページに記載しています。

**(10) 創造都市雇用対策事業【新規】** **117,197千円** (前年度-)

緊急雇用創出事業等の一環として、アーティストと障害者施設との協働により商品開発を行う事業のほか、横浜トリエンナーレのPR業務、オープンヨコハマにおける来場者の会場間輸送業務やインフォメーション等来場者の誘導案内輸送業務などに就業の機会を提供します。

**2 戦略的事業誘致** **20,000千円** (前年度21,400千円)

※ 詳細は「IV. 観光・コンベンション振興費」(13ページ)に記載しています。

III	(3款1項5目) 文化振興費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国 千円	県 千円	その他 千円	一般財源 千円
		3,675,017	4,030,006	△354,989	-	-	293,043	3,381,974

### 文化振興部

横浜みなとみらいホールや横浜美術館などの専門文化施設で芸術フェスティバル等を開催するなど、横浜から広く文化芸術を発信します。

また、若手音楽家の発掘・育成を目的とした音楽祭の開催、身近な地域でのアート活動の推進、次代を担う子どもたちの創造性を育む事業の推進、文化施設の運営・整備など、市域全体で文化芸術を推進します。

#### (1) 横浜芸術アクション事業【新規】 20,000千円 (前年度-)

専門文化施設のポテンシャルを最大限発揮し、質の高い演奏会等を開催するとともに、市民と芸術をつなげる事業を実施。(平成24年度の本格実施に向けて、平成23年度はプレ事業を実施。)

#### (2) クラシック・ヨコハマ推進事業 11,000千円 (前年度11,000千円)

##### ア クラシック・ヨコハマ

国内最高峰の学生音楽コンクールである全日本学生音楽コンクール全国大会を中心に、地域でのサロンコンサート等による音楽祭を開催します。

##### イ 国際音楽セミナー

世界的演奏家による国際音楽セミナーを開催し、若手演奏家を発掘、育成するための環境整備を行います。

#### (3) 文化芸術による地域づくり事業 5,100千円 (前年度6,000千円)

市民・NPOが主体となり、人と人、地域と地域のつながりやネットワークを広げ、コミュニティの活性化を図る文化芸術活動を支援します。

#### (4) 芸術文化教育プログラム推進事業 17,500千円 (前年度17,500千円)

次世代を担う子どもたちの市民力、創造力を育成するため、学校において、アーティストによる芸術文化の体験ができる教育プログラムを、NPO、企業等とのネットワークにより実施します。

#### (5) 芸術文化支援事業 37,450千円 (前年度40,150千円)

美術・音楽等の芸術文化活動に対する様々な支援を行います。

**(6) 文化施設運営事業** **2,308,911千円** (前年度2,107,034千円)  
横浜美術館、横浜みなとみらいホール等の文化施設の運営等を行います。

ア	横浜美術館運営費	529,375千円
イ	横浜みなとみらいホール運営費	437,010千円
ウ	横浜能楽堂運営費	168,422千円
エ	横浜にぎわい座運営費	190,901千円
オ	関内ホール等文化施設運営費(11施設)	664,534千円
カ	市民利用施設予約システム運営費等	318,669千円

**(7) 文化施設整備事業** **1,008,643千円** (前年度1,481,591千円)  
市民の主体的、創造的な文化活動の身近な拠点となる文化施設を各区の文化特性等に応じて整備します。

ア	鶴見区民文化センター(土地費相当額)	1,004,293千円
イ	緑区民文化センター(調整費)	100千円
ウ	戸塚区民文化センター(PFIモビリティ費)	4,250千円

**(8) 横浜市芸術文化振興財団補助金** **212,021千円** (前年度235,288千円)  
公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団の運営及び事業への補助を行います。

**(9) その他の文化振興事業** **54,392千円** (前年度131,443千円)  
横浜文化賞の贈呈、美術資料収集、文化施設の長期維持管理、次期指定管理者の選定等を行います。



IV	(8款1項9目) 観光・コンベンション振興費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源			
					国 千円	県 千円	その他 千円	一般財源 千円
	※	2,198,952	2,365,204	△166,252	—	19,850	868,413	1,310,689

観光・コンベンション振興部

※ 再掲分、2款1項3目創造都市推進費 20,000千円は含まず

**1 観光資源の魅力アップと活用事業** **464,661千円** (前年度582,573千円)

横浜に訪れる多くの来街者の滞在環境を魅力あるものとするため、観光案内所の運営や人材育成支援、名勝三溪園の施設整備補助や他所管施設の維持・管理などを行います。また、民間事業者との連携により、横浜の強みを観光資源として発掘・活用する「ニューツーリズム振興」を進めるとともに、修学旅行誘致の強化に取り組んでいきます。

**(1) 国内誘客事業** **62,098千円** (前年度60,584千円)

- ア 修学旅行誘致に向けた、重点エリアセールスやバス借上助成の創設
- イ 横浜旅行の商品化に向けた販売促進とPR
- ウ インターネットによる横浜情報の発信 等

**(2) 横浜観光プロモーション認定事業** **21,000千円** (前年度21,000千円)

民間事業者が実施する横浜の集客力を高める事業を認定、支援

**(3) ニューツーリズム振興事業【新規】** **6,000千円** (前年度-)

「産業観光」をはじめ、新たな視点からの観光資源の発掘・活用を推進

**(4) フィルムコミッション事業** **16,000千円** (前年度20,000千円)

様々な媒体で取り上げられることによるシティーセールスの推進

**(5) 横浜おもてなし事業** **100,229千円** (前年度107,457千円)

- ア 市内4ヶ所の観光案内所及び羽田空港6県市観光情報センターの運営、民間観光案内所の支援
- イ 「連泊して楽しめる横浜」の実現 等  
(事業主体・補助金交付先：(財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(社)YOKOHAMA GOODS 001)

**(6) 三溪園支援事業** **165,047千円** (前年度227,362千円)

- ア 重要文化財建造物や庭園築造物等の保存修理事業
- イ 施設整備にかかる資金借入に伴う元利返済金に対する補助  
(事業主体・補助金交付先：(財)三溪園保勝会)

**(7) ヨコハマグッズ販路強化事業** **19,850千円** (前年度19,931千円)

ヨコハマグッズ「横濱001」のPR及び販路強化

(8) その他観光振興事業 74,437千円 (前年度126,239千円)

ア 横浜人形の家機能拡充・修繕

イ 観光入込客数調査など観光施策に関する調査等

(事業主体・補助金交付先：(財)横浜観光コンベンション・ビューロー)

**2 海外集客プロモーション事業 97,886千円 (前年度45,592千円)**

羽田空港に国際定期便が就航するアジア地域をターゲットとして、横浜の観光地としての知名度向上やツアー造成に繋がるようなプロモーションの実施により、横浜への集客増を図ります。

(1) ビジットジャパン地方連携事業等を活用したプロモーション 12,500千円 (前年度4,000千円)

観光庁、近隣自治体、交通事業者等と連携し、アジア6地域を対象とした誘客事業

(2) 中国向けプロモーション事業 31,000千円 (前年度25,000千円)

観光セミナー開催、横浜友好観光大使を起用したメディアプロモーション

(補助金交付先：横浜企業経営支援財団上海事務所)

(3) 航空会社とのタイアッププロモーション【新規】 9,500千円 (前年度-)

航空会社とのタイアップによる横浜観光PR

(4) その他 44,886千円 (前年度16,592千円)

横浜観光コンベンション・ビューローへの支援等

**3 MICE誘致・開催支援事業 1,395,089千円 (前年度1,447,588千円)**

羽田空港国際化やAPEC等の開催実績をいかし、国際コンベンションの誘致・開催支援を行うほか、市内の大学や研究機関で開催される国際コンベンションへの支援や国内会議の国際化、ウェルカムプロジェクトなどの取組を行います。

※MICE (マイス) とは、Meeting (企業等の会議)、Incentive Travel (企業等の行う報奨・研修旅行)、Convention (国際機関・団体・学会等が主催する総会、学術会議等)、Event/Exhibition (イベント・展示会・見本市) の頭文字をとった言葉。

**(1) コンベンション誘致・開催支援事業** 106,152千円 (前年度101,486千円)

- ア 市内の大学や研究機関で開催される国際コンベンションへの支援【新規】
- イ 国内会議の国際化【新規】
- ウ ウェルカムプロジェクト【新規】
- エ アフターコンベンションの促進等  
(事業主体・補助金交付先：(財)横浜観光コンベンション・ビューロー、  
コンベンション主催者)

**(2) MICE機能強化等事業** 1,242,137千円 (前年度1,304,302千円)

- ア MICE機能強化のための調査検討【新規】
- イ 横浜MICEオープンカレッジ(仮称)の開校【新規】
- ウ パシフィコ横浜 国際交流ゾーン用地取得費  
(事業主体・補助金交付先：(財)横浜観光コンベンション・ビューロー)

**(3) 集客イベント支援事業** 46,800千円 (前年度41,800千円)

- 春の大道芸、ザよこはまパレード、横浜開港祭、ワールドフェスタ・ヨコハマ、  
新横浜パフォーマンス、ディワリ・イン・ヨコハマ、フォト・ヨコハマ等  
(事業主体・補助金交付先：(財)横浜観光コンベンション・ビューロー、  
イベント主催団体)

**4 戦略的事業誘致【再掲】** 20,000千円 (前年度21,400千円)

(2款1項3目創造都市推進費)

これまで第4回アフリカ開発会議やAPEC首脳会議等の誘致に成功し、開催支援を行ってきた実績を生かし、引き続き大型国際コンベンションを誘致し、MICEの拠点都市として、国際的な地位の確立を図ります。

また、第4回アフリカ開発会議(平成20年5月)を機に横浜に誘致した「アフリカン・フェスタ」を平成23年度も開催します。

**(1) 大型国際コンベンション誘致事業** 9,170千円 (前年度10,000千円)

APEC横浜開催等の実績を生かし、大型国際コンベンション誘致に関する調査や資料作成等を行うほか、必要に応じて、市内関係団体等と連携した誘致活動を進めます。

**(2) アフリカン・フェスタ実施事業** 10,830千円 (前年度11,400千円)

第4回アフリカ開発会議をきっかけとしたアフリカと横浜のつながりを一過性のものせず、アフリカへの理解と関心を深めるための我が国最大のアフリカの祭典「アフリカン・フェスタ」を誘致し、外務省との共催により開催します。

**5 減債基金積立金** 241,316千円 (前年度236,713千円)

株式会社横浜国際平和会議場貸付金の利子償還額を減債基金に積み立てます。

